年間授業計画　新様式

高等学校 令和５年度（2学年用）教科　　芸術　　科目 音楽Ⅱ

教　科：芸術　　科　目：音楽Ⅱ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　6 組

使用教科芸術　『ON！２』（音楽之友社）

教科　芸術　　の目標：芸術活動を通して、生活や社会の中にある芸術作品や概念に興味・関心をもち、芸術の伝統と文化に関わる資質・能力の向上と、生徒の自発的創造力を育成する。

【知識及び技能】芸術の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、効果的に表現するため技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】芸術文化と伝統の意味や価値を考え、芸術作品のよさや美しさを感受し、自らの構想や表現を工夫することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】主体的に幅広い芸術活動に取り組み、芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目　音楽Ⅱ　　の目標：音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深くかかわる資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽の演奏や鑑賞を通じて、その良さや美しさを深く味わうことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	スコアリーディング（ソルフェージュ） 【知識及び技能】楽譜を把握し、小節の拍とリズムの縦の要素を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】楽譜の各要素を判断し、適確な表現力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】ソルフェージュ力を身に付ける事を通じて、自発的な演奏能力を身に付ける。	・指導事項 スコアリーディングに必要なとリズムと音高の把握と表現方法 ・教材 教科書、五線紙 ・一人１台端末の活用　等 作品例の鑑賞		○	○	○	【知識及び技能】楽譜を把握し、小節の拍とリズムの縦の要素を理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】楽譜の各要素を判断し、適確な表現力が身に付いているか。 【学びに向かう力、人間性等】ソルフェージュ力を身に付ける事を通じて、自発的な演奏能力を身に付いているか。	○	○	○	14
	イタリア歌曲 【知識及び技能】ベルカント唱法の発声法を理解し、歌唱に生かせるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】歌唱楽曲の特徴や美しさをとらえて、どのような表現意図をもっているかを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】それぞれの歌曲の音楽表現に関心をもち、主体的に歌唱活動に取り組む姿勢を養う。	・指導事項 ベルカント唱法の理解と歌唱の用いられ方の技法 ・曲想に応じた表現技法 ・教材 教科書、五線紙、視聴覚教材 ・一人１台端末の活用　等 作品鑑賞	○			○	【知識及び技能】ベルカント唱法の発声法を理解し、歌唱に生かせるようになっているか。 【思考力、判断力、表現力等】歌唱楽曲の特徴や美しさをとらえて、どのような表現意図をもっているかを理解しているか。 【学びに向かう力、人間性等】それぞれの歌曲の音楽表現に関心をもち、主体的に歌唱活動に取り組む姿勢を養うことができているか。	○	○	○	14
2学期	コードネーム伴奏を伴う楽曲の創作 【知識及び技能】和声音と非和声音の楽曲での使われ方、創作時の使い方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】旋律と和音（コード）の繋がりが適正であるかどうかを自ら判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】コード伴奏を伴う楽曲の創作を通じて、作曲にたいする興味をもち、音楽作品にたいする感じ方を深めることができる。	・指導事項 和声音と非和声音の楽典理論と機能和声の基本理論 ・教材 教科書、五線紙 ・一人１台端末の活用　等 作品例の鑑賞			○	○	【知識及び技能】和声音と非和声音の楽曲での使われ方、創作時の使い方を理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】旋律と和音（コード）の繋がりが適正であるかどうかを自ら判断できているか。 【学びに向かう力、人間性等】コード伴奏を伴う楽曲の創作を通じて、作曲にたいする興味をもち、音楽作品にたいする感じ方を深めることができているか。	○	○	○	14
	総合芸術（オペラ・バレエなど）の音楽 【知識及び技能】物語の内容や時代背景と楽曲の特徴を把握し、舞台作品としての表現方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】使用されている楽曲の特徴や美しさをとらえて、どのような表現意図をもっているかを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】それぞれの物語のシーンや楽曲に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞活動に取り組む姿勢を養う。	・指導事項 作品の物語の内容や時代背景、登場人物の心情の理解と音楽の用いられ方の技法旋律やリズム、曲想に応じた表現技法 ・教材 教科書、五線紙、視聴覚教材 ・一人１台端末の活用　等 作品鑑賞	○	○		○	【知識及び技能】物語の内容や時代背景と楽曲の特徴を把握し、舞台作品としての表現方法を理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】楽曲の特徴や美しさをとらえて、表現意図を的確に理解しているか。 【学びに向かう力、人間性等】それぞれの物語の特徴や作品の時代背景に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞活動に取り組んでいるか。	○	○	○	12
3学期	コード（和音）とキーボードの奏法 【知識及び技能】キーボードの基本指使いを理解し、コードを弾けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】旋律に伴う適切なコード（和音）を選んで楽器で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】コードをキーボードで弾くことにより、様々な旋律に対する和声に興味をもつことができる。	・指導事項 キーボードの奏法に関する基本的な技法 ・教材 教科書、五線紙 ・一人１台端末の活用　等 作品例の鑑賞		○	○	○	【知識及び技能】キーボードの基本指使いを理解し、コードを弾くことができているか。 【思考力、判断力、表現力等】旋律に伴う適切なコード（和音）を選んで楽器で表現できているか。 【学びに向かう力、人間性等】コードをキーボードで弾くことにより、様々な旋律に対する和声に興味をもつことができているか。	○	○	○	16
											合計 70